

令和 7 年第 3 回久米島町議会定例会一般質問

令和7年6月10日～6月12日

令和7年第3回6月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	田端努	1. 本町の観光振興基本計画について	6月10日(火)
		2. 外国人人材の受け入れについて	
		3. 本町の地域防災計画について	
2	真栄平建正	1. 堆肥等購入補助制度の公平な運用について	
		2. 海洋深層水の活用拡大による地域経済及び観光振興について	
		3. 支援員の待遇改善について	
		4. 久米島町空き家対策について	
3	盛本實	1. 本町の職員数について	
		2. 本町に存する自衛隊専用道路(通称)の民間使用について	
		3. 離島・過疎地域振興に関する要望事項に対して県の関係機関の措置状況及び今後の取り組みについて	
4	赤嶺秀徳	1. 観光振興について	
		2. 第3次久米島町観光振興基本計画について	
		3. 高速船について	
5	保久村登	1. 「阿嘉のひげ水」(一帯地層・阿嘉層)について	6月10日(火)
		2. 真泊港の整備活用について	
		3. 真謝地区の農業用水の確保について	

令和7年第3回6月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	幸地猛	1. 町民所得について	6月11日(水)
		2. 上水道事業について	
		3. 道の駅について	
2	喜久里猛	1. 伊敷索城址の今後はどうするか	
		2. 花咲港の新バースは使用の予定はあるか	
		3. 大田の離岸堤改修工事はどうなっているか	
3	喜久里強	1. 本町の海岸線の漂着ゴミについて	
		2. 本町における慢性的な人材不足について	
4	宇江原総清	1. 鳥島射爆場と政治	
		2. 自然再生について	
		3. 宇根・真謝の県道の街路樹管理について	
5	新垣幸子	1. 防災意識を高める講座の開催について	
		2. 職員の意識向上改革について	
		3. 島内老舗事業所への支援について	
		4. 平和教育の取り組みと戦争語り継ぎ手の育成について	

令和7年第3回6月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	棚原哲也	1. 町営バスについて 2. 奥武島の西海岸の環境保全及び国土の保全について 3. 車海老養殖について	6月12日(木)
2	富永 肇	1. プロ、アマチュア野球キャンプについて 2. 久米島町長杯JTA・RACメモリアルカップ、リトルシニア野球大会について 3. 中学校部活動について	
3	吉永将志	1. 戦後80年の取組内容について 2. 結婚披露宴助成金について 3. 久米島町結婚生活支援事業について 4. 職員のパソコン技術向上の取組とオープンデータの推進状況について 5. シルバー人材センターについて	

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
13	田端 努	1. 本町の観光振興基本計画について	<p>本町では2024年から2028年までの第3次観光振興基本計画を策定し、「持続可能な島の未来をつくる共創ツーリズム」に向けた施策に取り組み、更なる誘客を図っていくとしているが、以下の点について伺います。</p> <p>(1) インバウンド旅行者を含めた観光客に対して、ソフト面とハード面（主要観光地での駐車場・トイレ等）での取り組みの現状と、今後の計画はあるか伺う。</p> <p>(2) 本年11月に予定している民間事業者による高速船就航に向けての本町の対応について伺う。</p> <p>(3) 久米島まつりの運営事業者の選定方法と開催時期について伺う。</p>	町長	<p>(1) インバウンドを含めた観光客に対するソフト面とハード面の取組について、ソフト面においては令和6年度に旅前・旅中の情報発信強化を目的に情報発信ツール「くめじまっぷ」を整備し、観光情報をインターネット上の地図上から入手できる仕組みを構築しました。ハード面に関しては、島内観光地の既設トイレの洋式化を順次進めているところです。</p> <p>(2) 本町の対策としましては、島内路線バスのダイヤ再編のほか、レンタカー、タクシー、貸切バス事業者などの交通事業者との意見交換を行っております。また、観光協会と連携し観光案内所の設置に向けた調整を図ってまいります。</p> <p>(3) 久米島来島の契機となり得る魅力的な久米島まつりを開催することで観光地としての認知度向上及び入域観光客数の増加を図る目的としております。公募型プロポーザル方式で企画提案申請書の提出が4社ありプレゼンテーションにより審査し委託事業者を選定しております。また、開催時期や開催内容等については、久米島まつり実行委員会で9月20日、21日に開催決定しております。</p>	商工観光課

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. 外国人人材の受け入れについて	<p>昨年同様の質問をさせてもらったが、この取り組みに対して進展が見られないとの意見や要望があり、本町行政として把握している現状と、取り組み等はないか以下の点について伺います。</p> <p>(1) 現在の外国人人材の受け入れ人数（職種別）は把握しているか。</p> <p>(2) 外国人人材の住まいの現状は。</p> <p>(3) 今後の行政としての取り組みを考えている事はあるか。</p>	町長	<p>(1)外国人の受け入れにつきましては、花卉・甘しょが12名、漁協が13名、ホテル従業員が11名、製造業が6名、福祉事業所で3名の雇用を確認しております。</p> <p>(2)居住先については各事業社にて寮やアパートを賃借していると伺っております。</p> <p>(3)外国人人材の受け入れについては、町内事業所での受け入れ内容を確認・参考にしながら、町としてどのように取り組みができるか、検討してまいります。</p>	町民課 産業振興課 商工観光課 福祉課
		3. 本町の地域防災計画について	<p>これまで地域防災に対して様々な形で質問・提案をさせてもらったが、以下の点について本町の考えを伺います。</p> <p>(1) 各地区に設置されている防災倉庫の運用方法が妥当であるか伺う。</p> <p>(2) 防災を兼ねた大型物流倉庫の建設が出来ないか伺う。</p>	町長	<p>(1) 防災倉庫を設置した当時において、各地区の区長を中心に管理していくことで確認しておりますが、時間の経過とともに区長さんの交代等で管理を含め不透明な点もでてきております。今後において管理・運用方法を各地区の区長さんと協議してまいります。</p> <p>(2) 大型倉庫については、自然災害等の対応のため重要性が高まっており、特に台風時においてある程度の備蓄が可能となれば食料品を中心に町民に向けて安心して生活できる環境を整えることは大変重要だと考えております。</p>	総務課

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
5	真栄平建正	1. 堆肥等購入補助制度の公平な運用について	<p>久米島町では、農業振興を図るため、除草剤、鶏糞などの農業資材に対する購入補助を行っていること承知しております。こうした制度は、地域農業の経費負担を軽減し、生産活動の継続を支える大変重要な施策であると評価しております。しかしながら、現場の農家の方々からは、「補助が全体に行き渡っていないのではないか、申請の早い農家が優先される」といった声が寄せられています。結果として、本来制度の恩恵を受けるべき対象者の一部が、制度を利用できていないという状況が生じているように見受けられます。そこで、以下の点について町の見解と対応策を伺います。</p> <p>(1) 制度の周知方法について 現在、堆肥、除草剤、鶏糞等の購入補助制度について、町はどのような方法で周知を行っているのかお尋ねします。また、すべての対象者に制度情報が適切に届いていると認識されているか、町としての見解を伺います。</p> <p>(2) 補助配分の基準と運用の透明性について本補助制度の対象者や補助配分の基準はどのように設定されているのか、具体的にご説明ください。周知の方法についてもお答えください。</p> <p>(3) 申請手続きに関する対応について 補助申請の手続きについて、高齢の農家の方々や制度に不慣れな方でも申請しやすいような配慮はなされているか、申請サポート体制の整備についての現状と今後の対応を伺います。</p> <p>(4) 制度改善に向けた今後の取り組みについて 今後、補助制度の公平性と利便性を高めるために、アンケートの実施など、制度の改善に向けた具体的な取り組みを検討されているか、伺います。</p>	町長	<p>(1) 制度の周知方法につきましては、補助を実施している久米島さとうきび振興協議会において、補助対象農家へ案内通知を郵送しているほか、JAおきなわ経済センターにもチラシを貼付しておりますので、町としましては適切に周知しているものと考えております。</p> <p>(2) 対象農家につきましては、令和6年度植付調査に基づいて対象農家を設定し、購入可能数量を算出しております。</p> <p>(3) 申請手続きはございません。窓口で購入申し込みをしていただき、対象農家の有無を確認することとなっております。</p> <p>(4) 制度改善に向けた今後の取り組みにつきましては、農家ごとの購入上限数量を設定することができないか、また、補助率を下げ、購入数量を増加することができないかなど、協議会へ提案してまいります。</p>	産業振興課

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. 海洋深層水の活用拡大による地域経済及び観光振興について	<p>本町では、海洋深層水の取水を行い、海洋深層水研究所を拠点として配管配水が実施されており、これにより雇用創出や人口対策等、一定の経済的波及効果が見られているところです。今後、さらにこの海洋深層水を、本町の観光振興地域として位置づけられているイーフ地区まで配管・供給することで、ホテルや商業施設などの事業所において新たな利活用の可能性が広がると考えます。これにより、地域産業の多角化および観光資源としての付加価値向上が期待されます。また、かつて奥武島で観光客に人気のあった「パーテハウス久米島」についても、現在は閉館となっており、今後の観光振興策として再検討すべき時期にあると考えます。なお、奥武島の「パーテハウス久米島」については、町が再開に向けて公募を行っている状況にあり、その公募の進捗や応募状況も含めて、今後の活用方針の一環として町の見解を伺います。</p> <p>(1) 海洋深層水の経済効果と将来展望について ・これまでの海洋深層水を活用した事業の経済波及効果、雇用・人口対策への貢献の評価は。</p>	町長	<p>(1) 海洋深層水を活用した事業の経済波及などの貢献の評価につきましては、議員の質問要旨にあります、「一定の経済波及効果がみられている」ことは、平成29年度に実施された沖縄総合事務局の調査でも明らかになっております。報告書によると経済効果として海洋深層水利用産業は年間売上高約25億円、雇用140人を生み出しており、この売上高は久米島全体の農業生産額や水産業生産額を上回る産業に成長しております。今後、大規模取水管の整備が完了した場合、経済効果はさらに拡大することが見込まれていることから、経済波及効果、雇用・人口対策への貢献度は高いと評価し、現在、海洋深層水利活用のさらなる促進のため、大規模取水管の導入に向け取り組んでいるところです。</p> <p>将来的な意向につきましては、現状として、現在の取配水設備の供給能力が夏場のピーク需要時に限界に達しており、新たな需要に対応できない状況です。</p> <p>取・排水位置からの距離も考慮しなければなりません。大規模取水管導入の、進捗をみながら検討すべきと考えております。</p>	(1) (2) プロジェクト推進課 (3) 商工観光課

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			<p>・将来的に他地域への供給拡大や産業連携を図る意向はあるか、伺います。</p> <p>(2) 海洋深層水のイーフ地区への供給について</p> <p>・現在の配管状況およびイーフ地区までの延伸に伴う課題は何か、伺います。</p> <p>・今後の実現に向けた町の検討と方針は。</p> <p>(3) バーデハウス久米島の現状と再活用について再開や他用途での再活用を検討しているか、伺います。</p>		<p>(2) 現在の配管状況は、奥武島ウミガメ館まで配管されております。延伸に伴う課題につきましては、先の答弁でも申し上げましたが、深層水の供給能力が限界に達していること、配管位置による事業費及び参画事業者の費用負担の増大、配管後の多段利用等の検討などが考えられます。</p> <p>今後の方針につきましては、さらなる地域産業の多角化や観光資源の高付加価値の向上を図るため、まず、大規模取水管導入に向け取り組んでまいります。</p> <p>(3) バーデハウス久米島再生に関しては、現在、事業パートナーと資金調達や設計等詳細な計画の協議を継続的に行っている最中であります。観光拠点として事業パートナーの提案に基づいた施設として再整備する方針です。</p>	
		<p>3. 支援員の待遇改善について</p>	<p>近年、児童生徒への学習支援や特別支援教育の充実に向けて、支援員(学習支援員、特別支援教育支援員)の果たす役割がますます重要となっております。しかしながら、本町においては、支援員の処遇面において課題があると認識しております。支援員の方々が安心して長く働ける環境を整えることは、子どもたちへの支援体制の安定化につながり、教育の質を高めることにもつながると考え、以下の点について町の見解を伺います。</p>	<p>教育長</p>	<p>(1) 支援員の配置状況については、基礎学力向上学習支援員が小学校に2名、特別支援教育支援員が小学校に8名、中学校に2名配置しております。支援員については計画した人員を確保できてない状況であり、学校の要望どおりとなっていないところもあります。</p>	<p>教育課</p>

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			<p>(1) 支援員の配置状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、町内の小中学校における支援員の配置状況はどのようになっているか。 ・ 学校現場からの要望に対し、配置数は充足しているのか、伺います。 <p>(2) 支援員の雇用条件について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援員の報酬水準、雇用形態(雇用期間、勤務時間等)はどうなっているか。 ・ 他自治体と比較して、待遇に格差がある場合、その是正について町はどのように考えているか、伺います。 <p>(3) 待遇改善に向けた町の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援員の報酬引き上げや、契約更新制度の見直しなど、待遇改善について検討している施策はあるか。 ・ 離島という特性を踏まえ、人材確保・定着を図るために、町独自の支援策(住宅補助、交通費支援等)の導入を検討できないか、伺います。 		<p>(2)(3) 支援員の報酬水準については、教職免許の有無や経験年数でも異なります。基礎学力向上学習支援員及び特別支援教育支援員共通で免許ありで時給1,372円から1,448円、免許なしで1,210円から1,268円となっております。</p> <p>雇用期間は夏休みなどの長期休暇を除き、今年度は206日となっております、勤務時間は1日7時間となっております。</p> <p>待遇につきましては、県内他自治体と格差があれば見直す必要があると思います。</p> <p>雇用期間については会計年度での任用ですので年度末までとなります。</p> <p>町独自の支援策について、島外から人材を確保する場合は、何かしらの支援は必要かと思えます。</p>	

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			<p>(4) 研修とスキルアップ支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援員に対する研修機会の提供状況はどうか。 ・ 教員や他の専門職との連携体制づくりを含め、今後どのような育成体制を構築していく方針か、伺います。 		<p>(4) 研修とスキルアップ支援については、すべての教職員向けの研修を3回実施し、共通理解に努めております。また、支援員のための研修会も実施し、特別支援担当教員、特別支援教育支援員及び基礎学力向上学習支援員の資質向上に努めております。</p>	
		4. 久米島町空き家対策について	<p>久米島町では、空き家の増加が進む一方で、特に若年層や移住者を中心に住居不足の声が上がっており、町の将来を見据えた持続可能な住宅政策が求められています。そこで、以下の点について町長にお伺います。</p> <p>(1) 空き家調査の目的と成果について 本町では多額の費用をかけて空き家調査が実施されておりますが、その調査の目的、内容、そして得られた具体的成果について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何年度にどのような手法で調査が行われたのか、調査委託料は ・ 調査によって把握された空き家の数、状態、所有者情報（生存死亡等）について、伺います。 ・ これらのデータは町のどのような政策・施策に活用されているのか、伺います。 <p>(2) 空き家の利活用実績と課題について これまでの空き家の利活用について、どのような実績があるのか、またそれに伴う課題は何か、又その対応策を伺います。</p>	町長	<p>(1) 空き家調査については、令和元年度に「空き家等実態及び意向調査並びに久米島町空き家等対策利活用計画策定業務」において実施しております。調査方法については、受託者が保有する空き家等候補データと町が保有する水道閉栓情報等との照合により調査対象建物を抽出し、抽出した建物を公道からの外観目視により居住実態の有無、建物等の状況について確認を行いました。</p> <p>委託料は、7,700,000円となっております。</p> <p>調査結果における空き家数は155件で、状態や所有者情報については、台帳として整理しました。</p> <p>調査結果をもとに、空き家バンクを創設し、住宅探しをしている方や移住希望者等への情報提供、空き家利活用を促進する支援、危険空き家の除却支援等の事業を実施しております。</p> <p>(2) 実績については、空き家バンクへの登録が24件、うち成約が19件、空き家改修11件、除却5件となっております。</p> <p>課題については、空き家バンクへの登録が少ないこと、空き家となっている家屋の未登記が多く、利活用に繋げにくい状況となっております。</p>	企画財政課

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			<p>(3)住居不足との関係と空き家の活用戦略について 現在の住居不足としての空き家活用と空きアパートのギャップをどう認識し、どのように埋めていくお考えか伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アパートの空き状況調査、賃貸化促進などの施策は検討されているか ・町として、空き家を住宅として活かすためのロードマップはあるのか、伺います。 		<p>(3)アパートの空き状況調査、賃貸化促進の施策について、検討したことはありません。空き家利活用に関する単独のロードマップはありませんが、総合計画においてKPI（目指そう指標）を設定し取り組んでおります。</p>	
8	盛本 實	1. 本町の職員数について	<p>先般の、新聞報道等によれば、渡名喜村が職員不足の補充を県、民間企業からの出向で補っているとの事である。2025年度には定数の約半分まで減少する可能性があるという事でかなり深刻な事態に直面しているのが実情である。同じ離島で、人口減少の課題を抱えている本町の実態について伺います。</p>	町長	<p>本町職員数については、職員定数条例から定数割れの状態が続いておりますが、臨時的任用職員等を採用することにより行政サービス維持に努めております。また職員採用試験を複数回実施することにより、職員確保に向け取り組みを強化しております。</p>	総務課
		2. 本町に存する自衛隊専用道路（通称）の民間使用について	<p>道路の種類は大きく道路法上の道路とそれ以外の道路に分けられます。道路法上の道路は ①高速自動車国道 ②一般国道 ③都道府県道 ④市町村道 の4種類あります。それ以外に、私道や農道、林道、里道、他法律で定められた道路（道路運送法の道路や港湾法の道路）などがありますが、本町内に在る自衛隊専用道路（通称）はどの部類に属するのか？</p> <p>(1) 同道路の性格は？</p> <p>(2) 専用道路であれば、自衛隊以外は利用できないのか？</p> <p>(3) 現状として町民の利用も多く見受けられるが、専用使用権者の黙認なのか？</p> <p>(4) 道路の起点終点は？</p>	町長	<p>(1)(2) 沖縄防衛局に問い合わせしたところ、当該道路については、道路法等が適用されない道路であるため、国道、都道府県道、市町村道、農道及び林道のいずれにも該当しない道路であり、専ら自衛隊が久米島分屯基地に進入するために設置した構内道路（私道）とのことです。</p> <p>(3) 当該道路の一部区間は、航空自衛隊久米島分屯基地司令と久米島町長との間で締結した「航空自衛隊久米島分屯基地専用道路の通行に関する協定書」に基づき、本町の関係者に通行を認めている状況となっております。</p> <p>(4) 専用道路の起点は、長井商店前となっており、終点を久米島分屯基地入り口となっております。</p>	総務課

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		3. 離島・過疎地域振興に関する要望事項に対して県の関係機関の措置状況及び今後の取り組みについて	<p>昨年度、町長は次の項目について、南部市町村会を通して県の関係機関に要望している。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 海洋深層水大規模取水設備等の新設実現 (2) 久米島への航空燃料給油施設の整備について (3) 兼城港拡張整備について (4) マリーナの整備について (5) 居住離島市町村での出産が困難な妊産婦及び難病患者の宿泊施設の整備について (6) 松くい虫対策について (7) 舎監の配置について (8) 県営住宅の整備について (9) 医師確保について <p>県の各機関の措置状況について教えてください。その措置結果に対して町長はどのような取り組みを行ったのか、あるいは取り組もうとしているのか伺います。</p>	町長	<p>(1) 大規模取水設備等の実現に向けて、大規模取水設備及び海洋温度差発電を整備していただきたい旨の要望ですが、措置状況の要旨として、あくまでも町が事業主体となる事業推進にあたって、意見交換や技術的な指導を行っていくスタンスの回答となっております。毎年、措置状況の回答を受け、県のスタンスと町の取組の進捗を勘案しながら、本プロジェクトをより前進させるため要望事項の修正や県の関係する部署などへの情報収集を行っております。</p> <p>(2) 久米島空港における航空燃料給油施設に関しましては、今年度より国が設置した空港防災機能施設整備事業費補助を活用した整備に向けて沖縄県と協議してまいります。</p> <p>(3) (4) 兼城港の防波堤拡張整備及びマリーナ整備につきましては、本町と意見交換を行いながら、整備の必要性を含め検討していくとのことであります。</p> <p>(5) 居住する離島において必要とする医療を受けることが出来ないため、沖縄本島に通院する患者の経済的負担を軽減することを目的として離島患者等通院費支援事業を実施しております。というのが県の回答でした。本町においても、当該支援事業を実施してはありますが、更なる負担軽減のため、引き続き要望してまいります。</p> <p>(6) 松くい虫対策につきましては、沖縄振興特別推進交付金を活用し、「沖縄型森林環境保全事業」により防除対策を継続しております。</p> <p>国指定天然記念物である「五枝（ごえ）の松」や「ナガタケ松並木」等の貴重なリュウキュウマツの保全と幹線道路周辺の松林等の被害木駆除について、今後も県と連携し、継続して取り組んでまいります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) プロジェクト推進課 (2) 商工観光課 (3) (4) 建設課 (5) こども未来課 (6) 環境保全課 (7) (8) 企画財政課 (9) 福祉課

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
					<p>(7) 舎監については、県予算を措置いただき、令和7年4月より配置しております。</p> <p>(8) 県営住宅の整備について、公営住宅建設については、市町村が主体的に行うことを基本として、県はその支援に努めるとのことでした。県は引き続き意見交換を行うとの考えもありましたので、県からの支援について意見交換を行いながら、取り組んでまいります。</p> <p>(9) 医師確保については自治医科大学、県立病院での医師養成を行い、離島及びへき地において勤務する医師の安定的な確保に取り組んでいる状況ですが、継続的な確保が困難な地域として、沖縄県医療計画において本町は「医師少数スポット」として位置付けられています。しかしながら、公立久米島病院は未だ医師不足の状況が続いております。町民へ安定的な医療を提供するため引き続き沖縄県に対して医師確保について要請してまいります。</p>	
12	赤嶺 秀徳	1. 観光振興について	<p>令和7年度の施政方針における所信表明のなかで入域観光客数が令和5年度実績で約9万人、コロナ禍以前と比較すると9割程度まで回復している。令和6年度に策定した第3次久米島町観光振興基本計画の基本理念である「持続可能な島の未来をつくる共創ツーリズム」に向けた施策に取り組むことで、更なる誘客を図るとしています。3点伺います。</p> <p>(1) 令和6年度の入域観光客数は何名か伺う。</p> <p>(2) 共創ツーリズムに向けた取り組みの推進状況を伺う。</p> <p>(3) 令和7年度の入域観光客数の目標値を伺う。</p>	町長	<p>(1) 令和6年度の観光入域客数は88,527人となっております。</p> <p>(2) 共創ツーリズムに向けた取り組みとしましては、第3次観光振興基本計画に則り、観光協会やDMO、観光事業者がそれぞれの役割を担いつつ、連携した取り組みを行っています。具体的には、観光資源であるビーチの美化については、観光協会が中心となり、島内のボランティア団体や観光客も巻き込んだクリーンアップ活動を展開しているほか、島内の飲食店が連携し「食」をテーマとした観光ブランディングとして、「久米島ぐるっと島グルメ」をテーマに、くめじまDMOが牽引役となって取組を行っています。</p> <p>(3) 令和7年度は102,000人の観光入域客数を目標に観光施策を展開してまいります。</p>	商工観光課

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. 第3次久米島町観光振興基本計画について	<p>本計画では、観光関連事業者や観光協会、経済団体、行政に加え、町民や来訪者も関わり合いながら、島ぐるみで観光振興を推進していくとされていますが、2点伺う。</p> <p>(1) 具体的な活動計画の策定は立てているか伺う。</p> <p>(2) 本町の観光振興を主導するのは行政か観光協会か伺う。</p>	町長	<p>(1) 第3次観光振興基本計画では、目標達成に向けて取り組むべきアクションプランを掲げており、それぞれのプレーヤーが同計画の基本理念のもとに連携して取り組みを行っています。</p> <p>(2) 第3次観光振興基本計画では、観光協会、DMO、観光事業者、地域経済団体、地域住民、行政がそれぞれの役割を担いつつ、連携して取り組むこととされております。</p>	商工観光課
		3. 高速船について	<p>所信表明で本年11月には民間による高速船の就航が予定されている。兼城港ターミナルへの観光案内所の設置や観光地の環境整備、さらに二次交通などの課題解決に向けて取り組む。インバウンド受け入れ対策として、国際交流員を配置し、PR戦略の強化や多言語対応、外国人観光客へのサポート体制を整える。としています。6点伺う。</p> <p>(1) 観光案内所設置の具体的な計画について伺う。</p> <p>(2) 国際交流員配置の具体的な計画について伺う。</p> <p>(3) PR戦略と外国人観光客へのサポート体制構築の具体的な対策について伺う。</p>		<p>(1) 兼城港ターミナルへの観光案内所の設置については、現在、沖縄県と協議中です。</p> <p>(2) 国際交流員の配置は令和7年7月末に配置が決定しております。外国人旅行者をターゲットにしたプロモーション活動やSNS等を活用し島の魅力発信を行ってまいります。</p> <p>(3) インバウンド向けのPR戦略としましては、英語、仏語、中国語による観光PR素材を作成し、関係各所へ配布するとともに、「Kumejima Explorer (クメジマ エクスプローラー)」というサイトを立ち上げ、情報発信を行っております。今後は国際交流員と連携してより効果的なPR戦略の展開と受入体制を強化してまいります。</p>	(1) (2) (3) (4) 商工観光課 (5) 建設課 (6) 商工観光課

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			<p>(4) 二次交通対策の課題に向けた対策について伺う。</p> <p>(5) 駐車場整備についても急務だと思うがその対策について伺う。</p> <p>(6) 二次交通の課題に向けた取り組みについて伺う。</p>		<p>(4) 二次交通対策としましては、島内路線バスのダイヤ再編のほか、レンタカー、タクシー、貸切バス事業者などの交通事業者や観光協会と連携し、課題解決に向けて取り組んでまいります。</p> <p>(5) 駐車場整備については、ターミナル背後の一部の舗装工事は今年度発注予定で、残りは次年度整備予定とのことです。11月の高速船就航には間に合わないことから、関係機関と連携を図りながら、利用方法を検討する必要があると考えております。</p> <p>(6) 現在の二次交通の分野においては人材不足が大きな課題として認識しており、その解消に向けて大型2種免許を含む資格取得に対する補助制度を構築したところです。</p>	
7	保久村 登	1. 「阿嘉のひげ水」(一帯の地層・阿嘉層)について	<p>「阿嘉のひげ水」は、400万年から200万年前にかけて堆積したとされる大規模な大陸河川起源の地層といわれている。河口付近にできるとされる大規模なクロスラミナがあることから、「阿嘉のひげ水」付近が河口であったと考えられる。また、琉球大学などの研究チームにより、この地層と同じ堆積岩が久米島北西沖の沖縄トラフから採取されており、当時久米島から沖縄トラフ側にかけて大陸河川起源の地層が広く分布していたことがわかる。</p> <p>このように考えていくと、「阿嘉のひげ水」一帯の地層とクロスラミナは久米島の成り立ちについて壮大なロマンを掻き立てる貴重な自然遺産だということが分かる。</p> <p>そこで、</p> <p>(1) 「阿嘉のひげ水」一帯の地層及びクロスラミナの学術的意義、自然遺産(天然記念物)としての価値について、博物館長の見解を伺いたい。また仲里村時代に天然記念物に指定された「イッカチ(魚垣)」との関係についてもご教示頂きたい。</p>	教育長	<p>(1) クロスラミナというのは水の流れがある環境で堆積した地層のことで、これだけの大規模なクロスラミナは県内では例がなく、堆積当時は、大陸の大河の河口域であったと考えられており、琉球列島の形成を考えるうえで貴重な地質だといえます。仲里村時代に、天然記念物として、「イッカチ(魚垣)」一帯の岩石」の名称でこの地層全体が指定されています</p> <p>(2) 各小中学校において島の成り立ちについて野外授業の中で、ひげ水の展望台で地層の見学、解説を行っています。</p> <p>(3) 現在、クロスラミナの案内板等は設置していません。崖下からの見学は、草木が生い茂り地層が露出している箇所が減ってきており、がけ崩れ等の危険性もあるため、近寄ることが難しい状況です。クロスラミナがよく観察できる阿嘉のひげ水の駐車場や展望台から観察するのが望ましいと考えます。</p> <p>阿嘉のひげ水と併せて紹介できるよう案内表示板や観光地としての活用を検討してまいります。</p>	博物館

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			<p>(2) 同じく、教育資料としての価値、活用策（久米島の成り立ちについての指導の実態）について、教育長の見解を伺いたい。</p> <p>(3) 同じく、観光資源としての価値、活用策（案内表示等は適切かなど）について町長の見解を伺いたい。</p>	教育長		博物館
		2. 真泊港の整備活用について	<p>5月1日、真謝沖に大型クルーズ船が停泊していた。真泊港に入港できないためとのことである。そこで、真泊港の埠頭を大型クルーズ船が入港できるような規模にした上で、旅客ターミナルを整備すれば、これまで久米島観光に消極的だったクルーズ船も呼び寄せることができるし、近いうちに就航予定の高速船の寄港地としても活用できる。観光振興に有益だと考える。町長の見解を伺いたい。</p>	町長	<p>クルーズ船寄港と久米島観光の振興は、地域経済の活性化において非常に重要なテーマであります。近年、国内外からの観光客が増加しており、特にクルーズ船による訪問者は、地域に新たな経済効果や魅力発信としても期待ができます。クルーズ船寄港地については、沖縄県土木建築部に対し兼城港の拡張整備を要望していることから兼城港を計画しております。仲里漁港真泊地区の可能性につきましては、沖縄県農林水産部との意見交換を踏まえ、検討していきたいと考えております。</p>	商工観光課 建設課
		3. 真謝地区の農業用水の確保について	<p>真謝地区では、畑にスプリンクラー設備もなく灌漑用水路も整備されていないため、農家は、本庄池の水をパイプラインで旧簡易水道跡のタンクに引き込み貯留して、灌漑用として利用している。</p> <p>ところが、上記パイプラインは経年劣化による腐食が激しいため、頻繁に部分断裂や接続箇所の損傷を繰り返しており、農家の畑作経営に著しい支障を及ぼしている。</p> <p>また、上記設備は字真謝の所有であるため、字真謝は、その都度、字の負担で応急措置を講じざるを得ず、字の財政に著しい負担を強いている。</p> <p>そこで、上記問題点を解決し、地域農業の安定経営を実現するために、久米島町において、上記農業用水貯留施設及びパイプラインを設置するのが相当と考える。町長の見解を伺いたい。</p>	町長	<p>真謝地区の給水施設については、補助事業採択に向け取り組んでおります。</p> <p>給水施設の具体的な利用形態については、受益者と意見交換を行い決定したいと考えております。</p>	建設課

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
6	幸地猛	1. 町民所得について	<p>(1) 沖縄県統計課は2022年度の一人当たり市町村民所得(県民所得)を発表した。市町村別にみると久米島町は1,977千円で県内市町村中38位で、対前年度比の伸び率も△3.0%となっている。2021年も県内41市町村中35位であった。昨年の答弁では、基幹産業である農業・漁業のさらなる振興に加え観光産業との連携や情報通信技術、ICTの導入生產品の高付加価値化を推進する必要があるということでした。その具体的な取り組みについて伺う。</p> <p>(2) 所得水準と人口減少は関係があり、所得水準が低い地域ほど人口減少に歯止めをかけるのが難しいと言われている。町の人口減少対策の取り組みについて伺う。</p>	町長	<p>(1) 高付加価値化については、「優良雌牛導入事業」や「久米島観光ブランディング事業」「体験交流型観光商品開発販売促進事業」「アウトドアツーリズム展開促進事業」等において、高付加価値化を図りながら取り組んでいるところです。</p> <p>引き続き人口減少や少子高齢社会において、1次産業の機械化推進、2次、3次産業のAIやICTの導入、デジタル化の取り組みは地域内生産額の拡大に有用と捉えておりますが、具体的な取り組みには至っておりません。</p> <p>町内産業にどのような展開ができるのか、関係課・関係機関と連携して、今後の施策において、機械化や先進技術導入を模索しながら、地域内生産額の拡大が発現できるよう取り組んでまいります。</p> <p>(2) 人口減少対策の取り組みとしましては、「子育て支援」「教育環境の充実」「産業支援」「移住定住促進」等、「第2次久米島町総合計画」の「島づくり目標」に沿った施策事業を実施し、取り組んでおります。</p>	企画財政課

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. 上水道事業について	<p>(1) 上水道事業について、施政方針では水源施設や上水道などの施設の適正管理に努めます。今後10年間の新たな上水道基本計画を策定し、既設の水道施設や設備について計画的な更新を図ってまいりますと言う。計画的な更新について伺う。</p> <p>(2) 沖縄県水道広域化推進プランにおける久米島町の取り組みについて伺う。</p> <p>(3) 近年では、全国的に水道管の老朽化が深刻な社会問題となっている。水道管には「ポリエチレン管」、「塩ビ管」、「ヒューム管」などがあり、これらの法定耐用年数は約40年間とされている。耐用年数を過ぎた水道管は汚れや赤さびが発生し、水道水を汚染する恐れがあり、さらに、時間が経つと水道管に穴が開き、水漏れを引き起こす可能性があると言う。久米島町の水道管も老朽化が進んでないかどうか、その現状と対策について伺う。</p>	町長	<p>(1) 令和7年度は、水道事業基本計画の策定から10年目の最終の年となり現在、基本計画に基づき山城浄水場の老朽化設備更新事業を実施しております。安全安心な水道水を安定して供給するため、将来の水需要と老朽化施設更新及び耐震化を念頭に、今年度新たな更新計画を盛り込んだ基本計画を策定します。</p> <p>(2) 水道広域化につきまして、令和6年3月に策定されました沖縄県水道広域化推進プランの中で、現在ステップ1として沖縄本島周辺離島8村を対象に県企業局による用水供給が令和7年度で完了する予定です。</p> <p>久米島町はステップ2に位置づけされていますが、広域化への移行年度等、具体的な議論はこれからとなります。</p> <p>引き続き水道広域化の検討会議や研修会に参加し情報収集に努めてまいります。</p> <p>(3) 久米島町の水道管老朽化の現状につきまして、40年を過ぎた水道管の割合は68.6%で県内市町村の中でも高い割合となっています。</p> <p>また老朽化が原因となる漏水も年に10件以上発生しており、修繕工事に伴う断水により住民生活に支障を来す状況となっています。</p> <p>現在のところ老朽化対策としては、山城浄水場の老朽化設備更新を進めており管路の更新につきましては新たな基本計画の中で検討を行ってまいります。</p>	上下水道課

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		3. 道の駅について	(1) 全国各地の「道の駅」では地域の創意工夫により「道の駅」を地域活性化の拠点として活かす取り組みが進展してきている。地元の名物や観光資源を活かして、多くの人々を迎え、地域の雇用創出や経済の活性化、住民サービスの向上にも貢献している。「道の駅」について町の考えを伺う。 (2) 道の駅は地産地消の拡大にも繋がっていくと思うが、町の取り組みについて伺う。	町長	(1)(2) 道の駅につきましては、小さな拠点として町民並びに観光客も利用できる施設で地域活性化につながるものと考えております。一般的には農産物や水産物の直売所、売店及びレストランなどのサービスが提供されることから、地産地消の拡大にも寄与しております。今後の本町の取組につきましては、新たな産業・観光交通拠点施設としてのみではなく、防災や交通・物流も含めた多機能施設として政策検討を行ってまいります。	商工観光課 産業振興課
3	喜久里猛	1. 伊敷索城址の今後はどうするか	あまりにも大きな災害で行政も苦慮していると思うが今後どうするか。 (1) 工事の方法は (2) 予算はとれるのか (3) そのままにするか	教育長	(1) 岩盤そのものが崩落しているため、史跡整備の範疇を超えており、工法を検討することが難しいと考えています。 (2) 予算について、県文化財課にも確認したところ、県指定史跡の指定地外がき損しているため、県文化財課が所管する補助金を活用できないことを確認しております。 (3) 本件は史跡整備の範疇を大きく超えており、全庁的に取り組む必要があると考えています。本町としましては、県文化財課と連携を取り、見廻りを強化し、引き続き対策を検討してまいりたいと考えております。	博物館
		2. 花咲港の新バースは使用の予定はあるか	(1) 新バースについては県から移管されていると思うがどうしようしていくか。新規の貨物船が使用する予定はあるか。 (2) 内側のバースの舗装工事の予定はあるか。	町長	(1) 新バースについては、現在のところ使用予定はないとのことであります。 (2) 用地舗装については、使用状況を踏まえ検討するとのことであります。	建設課
		3. 大田の離岸堤改修工事はどうなっているか	(1) ガラサー山と福祉センター間の堤防工事の改修予定はいつになるか。 (2) 堤防工事後全く改修されていない。	町長	高潮対策については、潮流調査等を行い字兼城から字鳥島間において一体的な対策が必要と考えております。どのような調査及び対策が必要か関係機関と調整しながら改善に向けて取り組んでまいります。	建設課

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
4	喜久里強	1. 本町の海岸線の漂着ゴミについて	(1) 本町の海岸線全域において漂着ゴミが目立ち、飛行機からも確認できるほど多い。町として今までどのような対応をしてきたか。 (2) 今後の対策を伺う。	町長	(1) 本町のこれまでの対応としましては、町民やボランティア、観光事業者等の協力による回収作業や平成21年度より沖縄県海岸漂着物等地域対策推進事業費補助金を活用し、海岸漂着ゴミの回収処理を実施しております。 (2) 今後の対策についても、各海岸管理者へ現状を共有し、漂着ゴミ対策への支援要請を行い、引き続き町民やボランティア、関係団体と協力連携して海岸の環境、景観の保全に努めてまいります。	環境保全課
		2. 本町における慢性的な人材不足について	全国的な問題でもあるが、特に離島地域において人手不足が加速している。本町も例外ではない。特に飲食、介護等サービス業などが著しい。そこで本町としてどのような対策をするか伺う。	町長	少子高齢化に伴う人口減少社会において、人材不足問題が全国的に顕在化し、本町でも事業継続の大きな課題となっております。 人材不足の対策として、町では保育士・幼稚園教諭の人材確保や大型免許取得にかかる支援等を実施しています。 町内事業所の雇用確保については、各事業者からの求人情報の収集・発信、移住・定住促進に取り組んでいるところです。 また、県外で開催されるフェア等において、参加を希望される町内事業者へ人材確保の場を提供しております。 人材不足は今後も引き続くものと捉えており、その対策としましては現取り組みを継続しつつ、有用な手段として考えられる1次産業の機械化推進、2、3次産業のAIやICT導入等について、関係課・関係機関と模索・検討しながら、取り組んでまいります。	企画財政課

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
11	宇江原総清	1. 鳥島射爆場と政治	<p>今なお続くイスラエルによるガザ地区の病院等への空爆、食糧物質阻止している生映像。ホロコーストの歴史を持つイスラエルは、骨と皮の赤子等餓死寸前の実像を見るにつけ、ジェノサイド、ホロコーストが浮かぶ。70数年前からイスラエルによるパレスチナ侵略以来続く。アメリカとの共犯歴史も見える。翻って、アメリカが統治支配の沖縄も80年になる。その間沖縄において何が起きたのか検証すべきだ。私もアメリカ軍キャンプハンセンを抱える金武交番に勤務。19歳から3年、内2年間はベトナム戦争。金武村では2件の殺人事件。アメリカ軍の疑いがあるものの暫くすると本国へ帰国。兵隊のLSD覚醒剤での保護も度々。そのような歴史の中で日本の政治家は台湾有事を挑発するような発言をしている。私が以前から言っているように「台湾有事はアメリカは武器を売っても兵隊の参戦はない」と言ってきた。これを裏付けるようにアメリカの国防長官ヘグセスは「台湾有事は日本が最前線に立つ事になる」と発言した。そのようなプロセスから質問する。</p> <p>(1) 台湾有事の際には嘉手納基地に貯蔵されている40万発の劣化ウラン弾を使用するとみる。</p> <p>(2) 今でも劣化ウラン弾は打っているとみる。なお8年程前から同鳥島に250キロ以上の大型爆弾を打ち込む音等はない。</p> <p>(3) 本町のガンによる死者数と地区別疫学調査及び同島周辺における放射性物質の調査(学者専門家等による)</p>	町長	<p>(1) 台湾有事については、絶対にあってはならないことであり、国防は国の専権事項であり、万が一にも有事が発生しないよう国において不断の外交努力を行うべきと考えております。</p> <p>(2) 劣化ウラン弾の使用についての情報は得ておりません。</p> <p>(3) 国は、平成9年から平成14年に実施した鳥島並びに久米島の陸域及び周辺海域における環境調査の結果、劣化ウランの影響は認められないことが確認されたとして、自然環境や住民の健康への影響がないと町及び町民に対して報告を行っております。また、町民の健康診断の結果並びに町民の死因の分析結果などを総合的に検討すると放射性物質の影響は無いものと考えております。</p>	総務課
		2. 自然再生について	<p>(1) 今や山・川・海の連動と豊かな海等が自然破壊されている。特に銭田川は県と調整、ボトムアップのうえで河川造りを設計した。しかし予定の河川の半分は三面コンクリートにした。これは自然再生推進法の趣旨に違反している。町長はこのことについてどう思っているのか。</p>	町長	<p>(1) 自然環境を取り戻すことを目的とした自然再生推進法は、自然資源の持続的な利用と後世への継承を図るうえでは重要と考えますが、用地確保が困難な場合や事業目的の早期達成を図るためには、自然工法を採用できない部分も出てきます。可能な限り自然工法による施設整備に努めてまいります。</p>	建設課

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(2) 兼城港と白瀬川の自然再生についても配慮していただきたい。兼城港についてはコンクリート護岸を撤去し、白瀬川から流れる豊かな水を海へ流す工法をとるべきである。千鳥足状にしたうえで、港内のヘドロを使い海浜の樹木を植栽すべき。更には、湾・白瀬川に接続する元のと殺場跡地を含めて、ヨットハーバーやヨットレース場を建設したらどうか。		(2) 白瀬川の河口付近の対策については、兼城港との関連もありますので、関係機関と意見交換を行いながら、対策の可能性について検討してまいります。マリーナ整備につきましては、沖縄県土木建築部へ整備要望を行っております。	
		3. 宇根・真謝の県道の街路樹管理について	同道路の街路樹の危険性について12月定例会に質問した。内容は私が1,300mにわたり枝打ちしたとの質問に対し町長は「質問の区間はボランティアの協力で管理している」と答えた。どこのボランティアか。このボランティアはどこの枝打ちをしたのか伺う。	町長	地域住民の方がボランティアで宇根から真謝までの間の県道街路樹を枝打ちしております。	建設課
10	新垣幸子	1. 防災意識を高める講座の開催について	東日本大震災や熊本地震などの教訓を生かし地域の地形の特徴を解説したり、日頃の備えについての講座の開催を要望したいが、ご見解を伺う。	町長	町民の防災意識について、これまでも取り組みを行っておりますが、防災専門の方からお話を聞くことも大変重要なことであり、東日本大震災や熊本地震で災害復旧に携わった方の貴重なお話は更なる意識向上に繋がるものと考えております。	総務課
		2. 職員の意識向上改革について	組織の成長と発展を促す上で不可欠な要素となりますが、2点伺います。 (1) 島内外の職員研修について、令和6年度に実施した件数及び内容と成果。 (2) 仕事の一環として、全職員を交替しながら約5日間、島内の事業所にて、職場体験をする機会を作ってみてはいかがでしょうか。(コミュニケーション能力を高め、現場で体験し気づきを得て、何が課題で何をすべきかを学ぶことができます。)		(1) 職員研修につきましては、令和6年度実績で全体で20項目の研修を実施し、172名の職員が受講しております。 (2) 島内事業所での研修については、以前町関連施設へ派遣した実績がございます。島内事業所において様々な業務に携わることで町の課題解決のヒントや求められる人材育成になる大変有益なことだと思います。組織の体制が整えば派遣することも検討していきたいと考えております。	総務課

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		3. 島内老舗事業所への支援について	幾多の時代の大きな困難を乗り越えて長きに渡り、島に多大なる貢献をされてきました。特に地域の活性化や観光施策等に大きな役割を果たしております。心から感謝致します。さて、最近、人件費、材料費、包材、電気代等の物価高騰により、経営が厳しい状況の声も聞こえてきます。新規商品開発には、補助金がありますが、島内老舗事業所に対しても支援や補助金を要望したいですが、ご見解を伺います。	町長	老舗事業所と地産地消の拡大策をDMOの「島ぐるめ」との連携、ふるさと納税品としての活用策、また事業継承の課題取組も併せて支援策として取り組んでゆくことが重要と捉えています。今後においては、商工会及び観光協会と連携し、観光消費額の増加や他自治体の支援策も参考にしながら施策展開をしてまいります。	商工観光課
		4. 平和教育の取り組みと戦争語り継ぎ手の育成について	戦後80年、戦争を直接体験した世代は少なくなってきた。沖縄戦、特に久米島の戦争の実相や教訓を正しく継承するために、行政や教育委員会の果たす役割は大きい。5点伺う。 (1) 現在、語り部や語り継ぎ手は、町内に何名の方が在籍されているか。 (2) 語り継ぎ手の養成講座は、考えているか。	町長 教育長	(1) 現時点で語り部として活動している方はおりません。語り継ぎ手として活動されている方が1名だと認識しております。 (2) 語り継ぎ手の養成講座の予定はありませんが、県内他自治体において戦後80年の節目として講演会などを計画しているところもあると聞いておりますので、参考にしたいと思います。	教育課 博物館 総務課 商工観光課

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			<p>(3)町として、平和行政を施策の中心に取り入れるお考えはないか。また、戦後80年という節目に何か事業を計画しているか、町長に伺う。</p> <p>(4)学校の平和学習や修学旅行生への語り継ぎ手に対する講師謝礼金は1回いくらになるのか。</p> <p>(5)平和教育のあり方や今後の取り組みについて、どのようなお考えか、教育長に伺う。</p>		<p>(3)平和行政への取り組みについては、慰霊祭の開催や博物館において、平和展を開催しているほか、町史資料において、「久米島の戦争記録」を活用して平和教育の取り組みを行っております。</p> <p>(4)学校での平和学習では、地域の方や島出身の方に依頼している聞いており、謝礼金の有無については把握しておりません。</p> <p>久米島町観光協会では平和学習講話として1時間あたり8,000円のガイド料となっております。</p> <p>(5)今後の平和教育につきましては、沖縄戦や久米島での戦争について学ぶことができる「平和展」を久米島博物館で開催します。また「久米島町史資料編1久米島の戦争記録」を活用して平和教育を行うよう支援してまいります。これにより地域住民が平和について考える場を提供し、戦争と平和について理解を深めることができると考えております。</p>	
1	棚原哲也	1. 町営バスについて	<p>町では町営バスの運行管理を民間の事業者へ委託し、4月1日より新体制での運営になるとしている。3点伺う。</p> <p>(1)営業所は旧町営バス営業所を活用するのか。</p> <p>(2)民間事業者が担っていた観光バス事業も町営バス運営事業を受託した同じ会社が担うのか。</p> <p>(3)仲里球場北側の駐車場を使用している貸切、観光バスの駐車場所の確保はなされているか伺う。</p>	町長	<p>(1)バス営業所については、当分の間活用することとしております。</p> <p>(2)観光バスにおいては、令和6年10月に認可を受け営業を開始し現在も運行しております。路線バスにおいても令和7年4月から運航委託を行っており、観光バス及び路線バスについても同じ会社が担っております。</p> <p>(3)仲里野球場北側の駐車場につきましては、認可申請において駐車場の確保が必要なため本町と土地賃貸借契約を締結し、使用しております。観光バス事業は、観光振興においても重要な位置づけであり本町と事業会社と連携して取り組んでまいります。</p>	商工観光課

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. 奥武島の西海岸の環境保全及び国土の保全について	奥武島の西海岸はイーブビーチ方向に長く砂洲が伸びていたが、潮流の影響を受け海中道路の際まで砂洲が大きく移動している。防潮堤の設置等対策を取らないで防置するとすると陸域の浸食、航路への砂の堆積等で漁業活動への大きな支障をきたす。又、大型台風の影響でフィッシャリーナ及び漁港施設に甚大な被害をもたらすことが思慮される。今後の取組方針を伺う。	町長	ご指摘の箇所につきましては、潮流の影響を受け砂洲が大きく移動しているため、改善対策の可能性について関係機関と協議したいと考えております。	建設課 環境保全課
		3. 車海老養殖について	本町では漁協及び民間の3事業者が車海老の養殖を行っており、町では車海老の養殖日本一の産地と謳っているが、深層水を活用して行ってきた稚海老の生産及び供給体制の不調で、1事業所が休業状況に陥っている。行政として現状を把握しているか。又、本町の水産業の主軸となって来た車海老養殖の立て直しをどう考えるか伺う。	町長	車海老養殖につきましては、昨年度沖縄県車海老漁業協同組合より種苗生産の不調について説明がありました。不調の要因としましては、職員の退職で種苗生産体制が維持できなかったことなどにより親海老が全滅したこととなっております。今後の取り組みにつきましては、本年度より職員を新たに雇用し、種苗の安定生産に向け取り組むとのことです。町としましても関係機関と連携を図り、車海老の生産振興を図ってまいります。	産業振興課
2	富永 肇	1. プロ、アマチュア野球キャンプについて	本町は野球キャンプ地として多くのチームがキャンプを行っている。観光閑散期における野球のキャンプは経済効果が大きいと考える。県内他自治体も球場整備などに力を入れている。野球のキャンプ、大会等の誘致も積極的に行っている。本町も誘致の取り組みや施設整備に対応していかなければと考える。各チームとの繋がりや要望、課題等にどのように取り組んでいるか伺う。		本町の野球キャンプ誘致については、先月に楽天野球団を訪問し、春季キャンプの継続実施に向けて要請を行ったところです。社会人・大学野球部のキャンプ、大会等についても誘致に向けて旅行会社、地元バス事業者等と連携し取り組んでおります。野球キャンプ等の受け入れについては、施設の経年劣化に伴う修繕等も多く、機能強化等に関するご意見、課題につきましても改善を図りながら受け入れできるコンディションを整えております。	商工観光課 環境保全課
		2. 久米島町長杯 JTA・RACメモリアルカップ、リトルシニア野球大会について	令和6年12月26日から29日の日程で開催しました。三年連続で本町にて開催して頂きました。参加チーム、家族やスタッフの数はかなり多く経済効果も大きい。リトルシニアの関係者との意見交換でも本町の野球環境は高い評価でした。今後のリトルシニア大会開催の見解を伺う。	町長	リトルシニア野球大会については、閑散期におけるスポーツコンベンションの取組として大変重要なものと認識しており、令和5年度の大会から「町長杯」として位置づけ、大会を開催しております。今後も引き続き、継続して実施できるよう大会を支援してまいります。	商工観光課

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		3. 中学校部活動について	中学校における部活動は学校教育の一環として健全育成やスポーツ及び芸術文化等の振興を支えてきたと感じています。少子化が進展する中、これまでの運営体制では維持が難しくなっており、抜本的な改革と取り組みが必要と考えます。少子化等による、部活動の今後の運営方針を伺います。	教育長	少子化が進む中での中学校の部活動をこれまでどおりの運営では持続できないと考えており課題となっております。 部活動は生徒の健全育成やコミュニティの形成に重要な役割を果たしていますが、参加者の減少や指導者の確保が難しくなっている状況にあります。 本町では今年度、スポーツ庁及び文化庁のガイドラインに則り、部活動の在り方に関する方針を定めるところです。教員の働き方改革や、勝利至上主義に陥らない指導を求めるなど、部活動改革に取り組んでいるところであります。	教育課
9	吉永 将志	1. 戦後80年の取組内容について	今年で戦後80年となる。事実を後世に伝え、平和を守っていくことが私たち大人の大きな役割と考える。この節目となる今年、本町の取組を伺う。	町長	平和行政への取り組みについては、慰霊祭の開催や博物館において、平和展を開催しているほか、町史資料において「久米島の戦争記録」を活用して平和教育の取り組みを行っております。	総務課
		2. 結婚披露宴助成金について	(1) これまでの助成金の活用状況を伺う。 (2) これまで助成金を利用された町民からの意見や改善して欲しい部分を伺ってきたか。伺ってきたのであれば、どのような要望があったか伺う。	町長	結婚披露宴助成金の活用状況につきましては、令和7年4月末現在、これまでの総件数として33件、支給額は合計で、20,050千円となっており、助成金を利用した者を対象としたアンケートを実施しております。助成金の増額や制度見直しの要望がございました。	町民課
		3. 久米島町結婚生活支援事業について	これまでの支援事業の活用状況を伺う。	町長	本事業の目的は、結婚に伴う新生活を始める世帯に対し、経済的支援を行うことで、結婚しやすい環境づくりを推進し、少子化対策に資することです。 支援内容としましては、住居費、引越費用の補助を行っており、実績としましては、令和3年度8世帯、令和4年度5世帯、令和5年度1世帯、令和6年度5世帯となっております。	こども未来課

令和7年6月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		4. 職員のパソコン技術向上の取組とオープンデータの推進状況について	(1) これまで行ってきた職員のパソコン技術向上への取組状況を伺う。 (2) オープンデータの推進状況を伺う。	町長	(1) パソコン技術向上の取り組みとしては、研修会を含む系の研修は、県職員研修および町独自の研修においても実施はございません。 なお、庁内で使用するシステム等の取扱いについては、使用方法や説明書を用いて対応することとしており、操作方法についての疑義等の対応は、総務課電算担当職員がサポートする形で業務が遂行できるような体制をとっております。 (2) オープンデータにつきましては、令和6年3月1日にオープンデータ利用規約を策定しており、ホームページにおいてデータを公開している状況です。	総務課
		5. シルバー人材センターについて	シルバー人材センター設立準備委員会が令和8年度4月スタートを目標に準備している。現時点で行った支援内容と今後決まっている支援内容を伺う。	町長	シルバー人材センター設立準備会への支援としては、4月より定例会へ参加しております。定例会では、センター設立に向けた方針や活動内容について意見交換を行っております。今後の支援としては、準備会事務所の選定を予定しています。	福祉課